概 況 調 査 票

常福寺のしばの木					No	042
調査日	平成19年12月02日(日)	天 候	晴 れ	主任調査員	真岡 雄一	
樹種名	タブノキ	学 名	*Machilus thunbergii Sieb. et*	科 名	クスノキ科	
所有者又は管理者	氏 名	常福寺	所在地	相模原市 新戸2516		
	種 別	○1. 公共機関 ◉2. 寺 社 ○3. 企 業 ○4. 個 人 ○5.その他民有				
樹木状況	◉1.単 木 ○2.生 垣 ○3.樹群中 ○4.その他( )					
生育環境の状況	立地場所	○1.庭園・屋敷林 ◉2.寺 社 ○3.街 路 ○4.ビル周辺 ○5.公 園 ○6.その他 ( )				
	周囲の状況	○1.芝 生 ○2.樹 林 ○3.建物の間 ○4.道 路 ○5.河 川 ○6.耕 地 ◉7.その他 (墓地)				
	日照条件	○1. 良 ○2.普 通 ◉3.やや不良 ○4.不 良				
	土地の傾斜	○1.平坦: 0° ー 5° ○2.緩傾: 5° ー15° ○3.中傾:15° ー30° ○4.急傾:30° ー45° ◉5.嶮傾:45° 以上 傾斜方向 ( )				
	土 壌	◉1.自然土 ◉a.堆積土 ○b.崩積土 ○c.削剥土 ○d.その他 ○2.盛土・客土 ○3.切土				
	根元近くの工作物	○1.縁 石(素材等:) ○2.植 桝(素材等:) ◉3.その他(階段、墓石)				
管理状況	1.柵 ○有 ◉無 [有の場合:a.高さ( )cm b.素材( )] 2.支柱 ○有 ◉無 3.剪定 ○強 ○弱 ◉無 4.定期的剪定 ○有 ◉無 5.施肥 ○有 ◉無 [有の場合: a.回数( ) b.量( ) c.種類( )] 6.薬剤散布 ○有 ◉無 [有の場合: a.回数( )b.種類( )] 7.その他 ( )					
形状寸法	樹 高	15.7 m	幹 周	主幹胸高(1.2m)の周囲長 5.34 m		
	株立本数と周囲長	1 本	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩			
	枝下高	4.3 m	枝 張	東 9.4 西 12.1 南 7.1 北 7.3 m		
	樹 齢	420 年	樹齢根拠	推 定		
	根元の状況	○1.裸地 ◉2.草地・地被類 ○3.灌木・低木 ○4.舗装 ( ) ○5.覆土 厚さ( ) cm 土性( ) ○6.その他( )				
特記事項	・南側にタブノキとケヤキがあり日照はあまり良くない					

外 観 等 調 査 票

常福寺のしばの木						No	042
樹 種	タブノキ	調査日	平成19年12月02日(日)	天 候	晴 れ	樹木医	真岡 雄一

外 観 調 査

	評 価	0	1	2	3	4	
樹木の活力度	樹 勢	旺盛な生育状況を示し被害が全くみられない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状態が劣悪で回復の見込みがない	ほとんど枯死	
	樹 形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊している	

被害の状況	被害の有無	○ 無 ◉ 有
	被害の部位	◉ 大枝 ○ 大枝付け根 ◉ 幹 ○ 幹分岐部 ◉ 根元 ○ 根系
	被害部の概要 その他	・樹冠の一部に枯れが目立つ ・中枝及び大枝の枯れ、折損跡の腐朽 ・幹の開口空洞腐朽(芯に達する) ・根元腐朽
処置	処置の必要性	○ 無 ◉ 有 (○ 緊急を要す ◉ 中期的に対応が必要 ○ 長期的には対応が必要)
	処置内容	・幹腐朽部の詳細な調査が必要 ・枯れ枝及び大枝折損部の除去

名 木 実 態 調 査

樹木の価値	景観性	◉ 遠方からの視認性が高く、シンボルやランドマークとしての価値が高い ○ 周辺樹木と一体となって地域の景観形成に寄与している ○ 周囲から見えにくく、景観的価値は高くない ○ その他 ( )
	地域環境	◉ 緑陰による気温調節効果 ◉ 防風効果 ○ 遮音効果 ○ その他 ( )
	生 態	○ 無 ◉ 有(種類: 鳥類) その他特記:
保全実態	保全の主体	◉ 所有者 ○ 自治体 ○ その他 ( )
	助成の有無	◉ 無 ○ 有(内容:)
	保全の内容	指定等: な し
	その他特記	

診 断 ・ 治 療 履 歴

履歴時期		主治医:
治療内容		
主治医メモ		

樹 形 写 真

常福寺のしばの木	No	042

東　面

・東側には本堂と竹林があり全体は確認できない

西　面

・北西から西側にかけては樹形がよく確認できる

北　面

・北側は墓地で全景が確認できる

被害部等詳細写真

常福寺のしばの木	No	042

詳細写真−1

・樹冠の一部に枝枯れが目立つ

詳細写真−2

・中枝の枯れ

詳細写真−3

・大枝折損跡の腐朽

詳細写真−4

・大枝の腐朽（枝抜け跡）
・カルスが発達している

被害部等詳細写真

常福寺のしばの木	No	042

詳細写真−5

・大枝折損跡の腐朽
・一部に癌腫状のコブがある

詳細写真−6

・幹の開口空洞（南側に2箇所）
・下段の空洞は芯に達している

詳細写真−7

・下段の開口空洞の拡大写真
・開口の縁にはカルスが発達している

詳細写真−8

・根元の腐朽